

全国健康保険協会加入者を対象とした
がん検診・がん対策に関する実態調査

<調査結果概要>



【調査目的】

経営者もしくは個人のがんに対するリテラシーと“がん対策”の指標の相関を見る

【調査概要】

サンプル数:①協会けんぽ加入事業所で、経営者または従業員向け検診の内容を把握している人 1,508人
②協会けんぽ加入事業所の被保険者 1,560人
③協会けんぽ加入事業所の被扶養者 515人

調査実施 :株式会社インテージ

調査方法 :株式会社インテージの保有するモニターパネルからの対象者をスクリーニングして実施したWEB調査

調査実施 :本調査 2017年1月20日～23日

【全国健康保険協会(協会けんぽ)について】

- ・協会けんぽの加入事業所数は、約196万事業所。加入者数は約3,800万人の日本最大の医療保険者。(2016年12月末時点)
- ・加入事業所は、健康保険組合や共済組合等に参加していない中小企業、小規模企業が多く、事業所の約8割が従業員9人以下。
- ・加入者は、健康保険組合に参加しない被保険者と被扶養者。健康保険組合が解散等の場合は協会けんぽの加入者となる。

【目次】

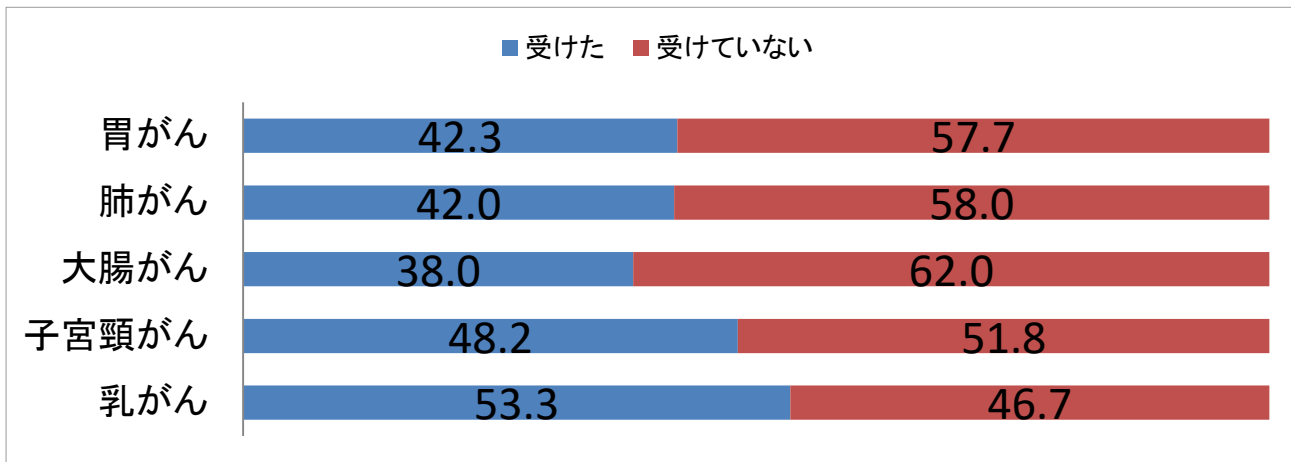
- 1.協会健保加入者のがん検診受診率
- 2.リテラシー度の作成方法について(1)(2)
- 3.経営者側のリテラシーと事業所における「がん検診実施状況」
- 4.被保険者のリテラシーと「がん検診受診率」
- 5.被扶養者のリテラシーと「がん検診受診率」
- 6.経営者に絞ったリテラシーと「事業所における“がん対策”」 ～がん検診実施状況
- 7.経営者に絞ったリテラシーと「事業所における“がん対策”」 ～就労支援状況

<参考資料>

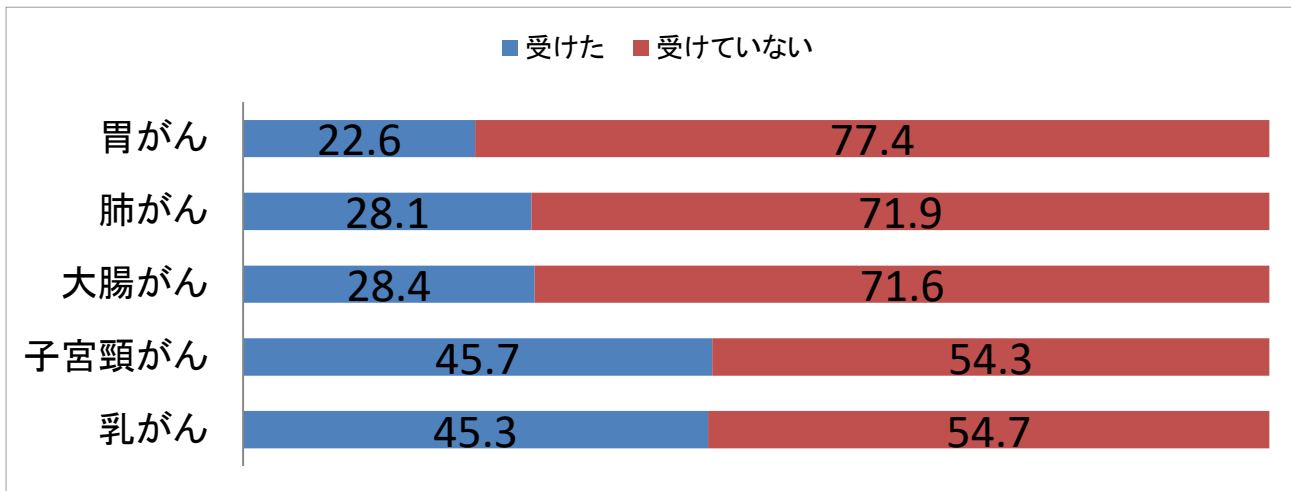
- A.経営者のリテラシーと「従業員向けがん検診の非実施理由」
- B.被保険者のリテラシーと「がん検診を受診していない理由」
- C.被扶養者のリテラシーと「がん検診を受診していない理由」

① 検診受診率

【被保険者】 ※胃がん・肺がん・大腸がんは男女40歳～69歳、子宮頸がんは女性20歳～69歳、乳がんは女性40歳～69歳



【被扶養者】 ※胃がん・肺がん・大腸がんは女性40歳～69歳、子宮頸がんは女性20歳～69歳、乳がんは女性40歳～69歳



②リテラシー度の作成方法について(1)

下記12項目の間に対する回答を元にがんに対する“リテラシー度”を作成。

	1	2	3
	知っている	聞いた事がある気がする	知らなかった
日本の男性の約3人に2人が生涯にがんを発症する →	23.4	38.9	37.7
日本の女性の約2人に1人が生涯にがんを発症する →	21.8	34.6	43.6
日本人の死因の第1位はがんである →	60.5	25.4	14.1
日本人の約3人に1人ががんで死亡している →	32.4	35.9	31.7
人口10万人あたりのがん死亡率は、日本はアメリカの1.6倍である →	8.8	18.5	72.7
「乳がん」がいちばん多いのは40代後半である →	15.4	29.8	54.9
「子宮頸がん」がいちばん多いのは30代前半である →	13.7	25.8	60.5
がん細胞は1日に約5000個もできる →	8.8	17.4	73.8
早期がんの段階なら多くのがんで9割以上が完治する →	32.7	41.9	25.5
がんが生まれた場所にとどまっている段階であれば治療は比較的容易。がんが生まれた場所から外に出ると完治が難しくなる。よって検診による「早期発見」が大切で →	48.7	28.8	22.5
早期のがんには自覚症状がほとんどない。なので症状が出る前にがんを見つける「がん検診」が大切である →	56.6	26.5	16.8
多くのがんでは入院せず仕事を続けながら治療を行うことも可能 →	33.9	33	33.1
	2点	1点	0点

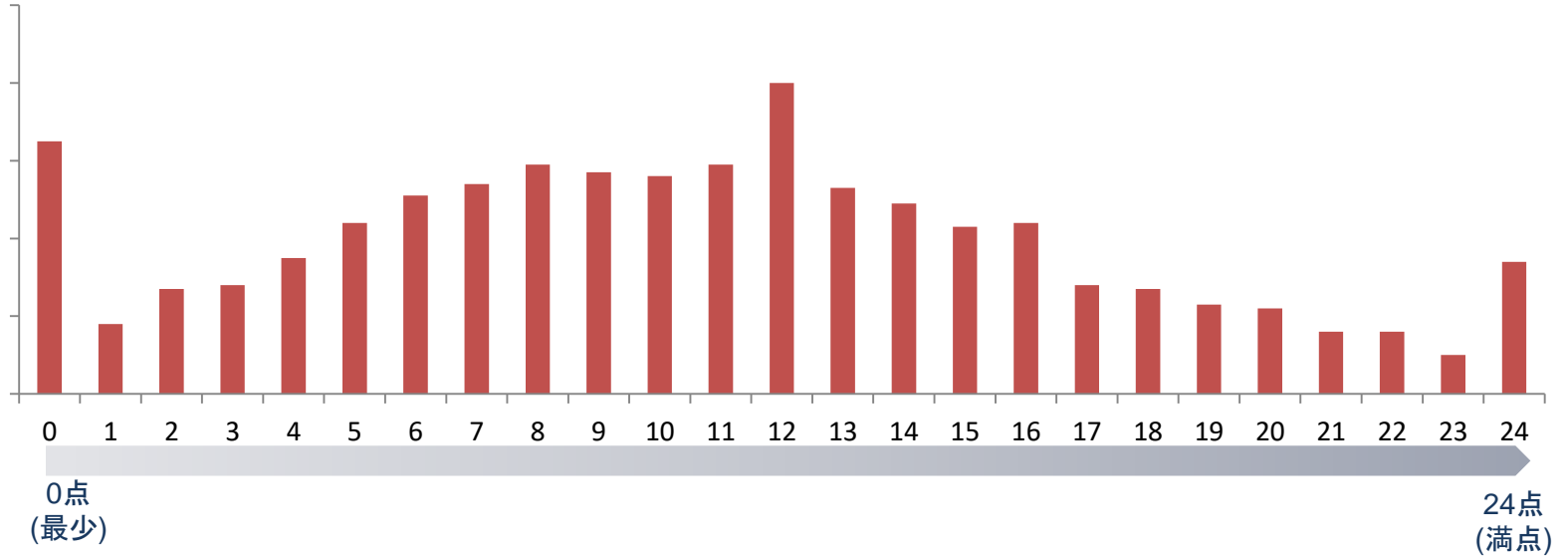
※スコアは全体合計(n=3583)での%値(ノンウェイト)

【得点方法について】

「知っている」=2点、「聞いたことがある気がする」=1点、「知らなかった」=0点 とし、各個人ごとに12項目の合計点を算出（最少0点 ~ 最大24点）

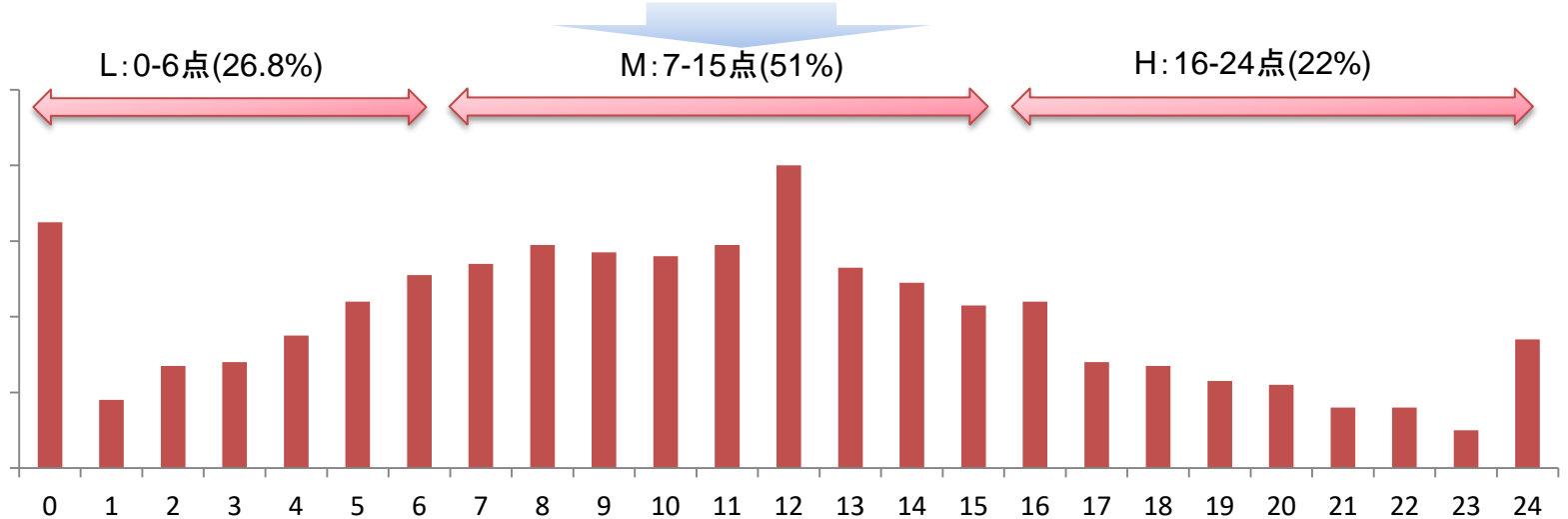
②リテラシー度の作成方法について(2)

前のシートで得点化した結果、分布は以下となった。



【区分方法について】

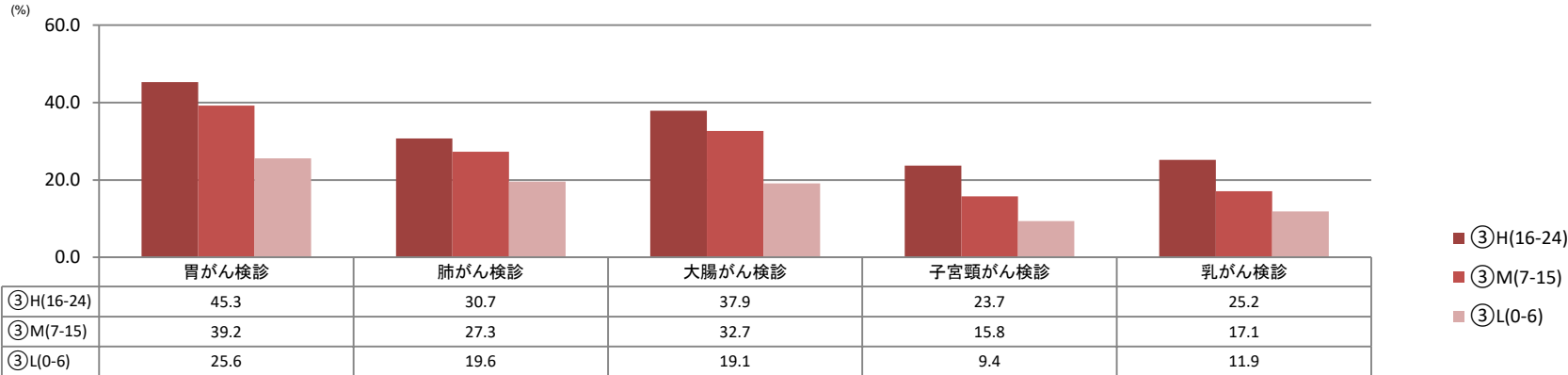
上記の分布を、高(H)・中(M)・低(L)の3層に分ける際、
各層の特徴が出やすいようにボリュームを[1:2:1]の比率に近づけてセグメント分けした



③経営者側のリテラシーと事業所における「がん検診実施状況」

◆経営者側として「経営者または従業員向け検診の状況を把握している者」を回答者として、
がんに対するリテラシーとがん検診実施状況の相関を見たもの

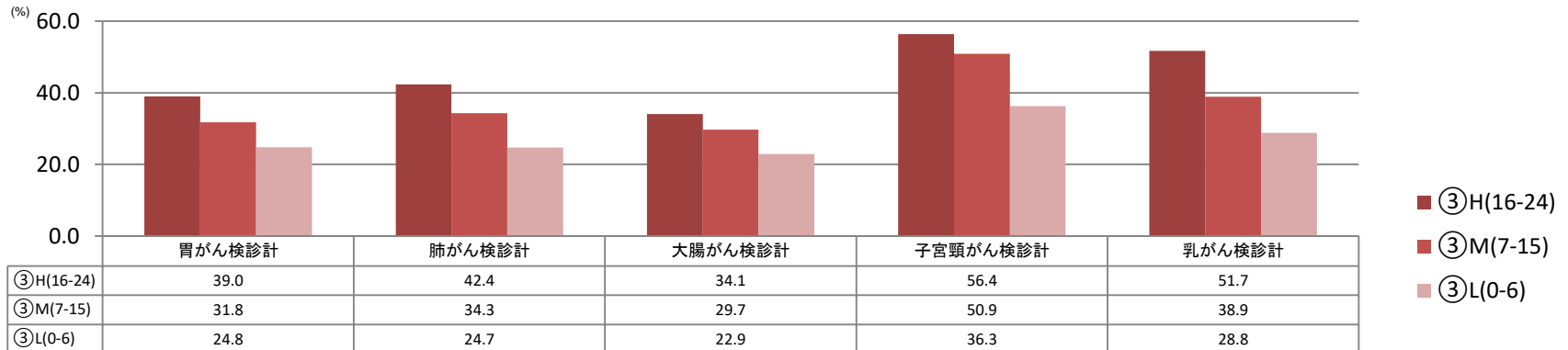
◆数値は、事業所として従業員向けがん検診を行っている率



経営に近い者のリテラシー度によって、がん検診の
「事業所における実施状況」は大きな差が出ている

④被保険者のリテラシーと「がん検診受診率」

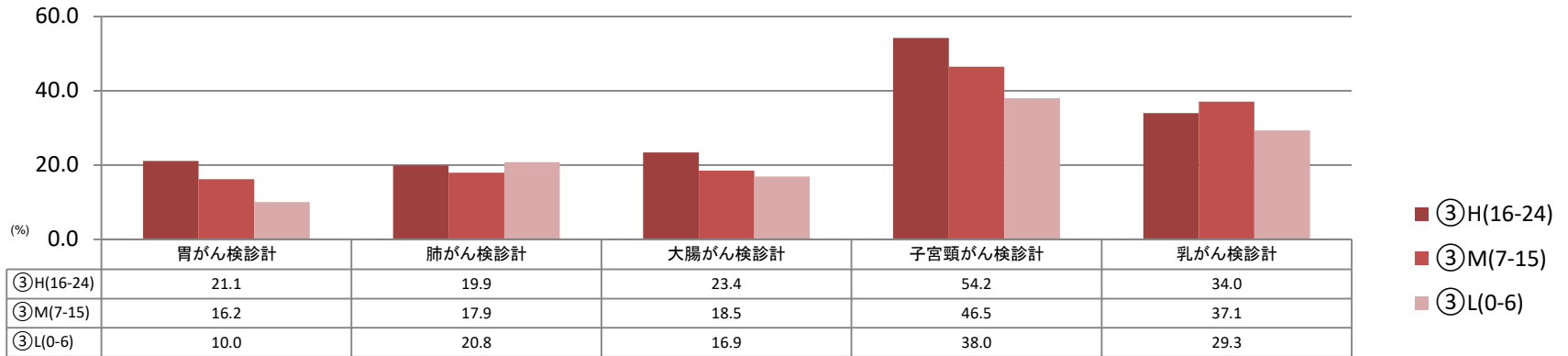
- ◆被保険者(従業員)を回答者として、がんに対するリテラシーとがん検診受診率の相関を見たもの
- ◆「胃がん」「肺がん」「大腸がん」は2016年の受診率、「子宮頸がん」「乳がん」は2016年または2015年の受診率
- ◆「子宮頸がん」「乳がん」は母数を女性限定とした



リテラシー度によって、被扶養者の「がん検診受診率」は大きな差が出ている

⑤被扶養者のリテラシーと「がん検診受診率」

- ◆被扶養者を回答者として、がんに対するリテラシーとがん検診受診率の相関を見たもの
- ◆「胃がん」「肺がん」「大腸がん」は2016年の受診率、「子宮頸がん」「乳がん」は2016年または2015年の受診率
- ◆被扶養者は回答者全員が女性



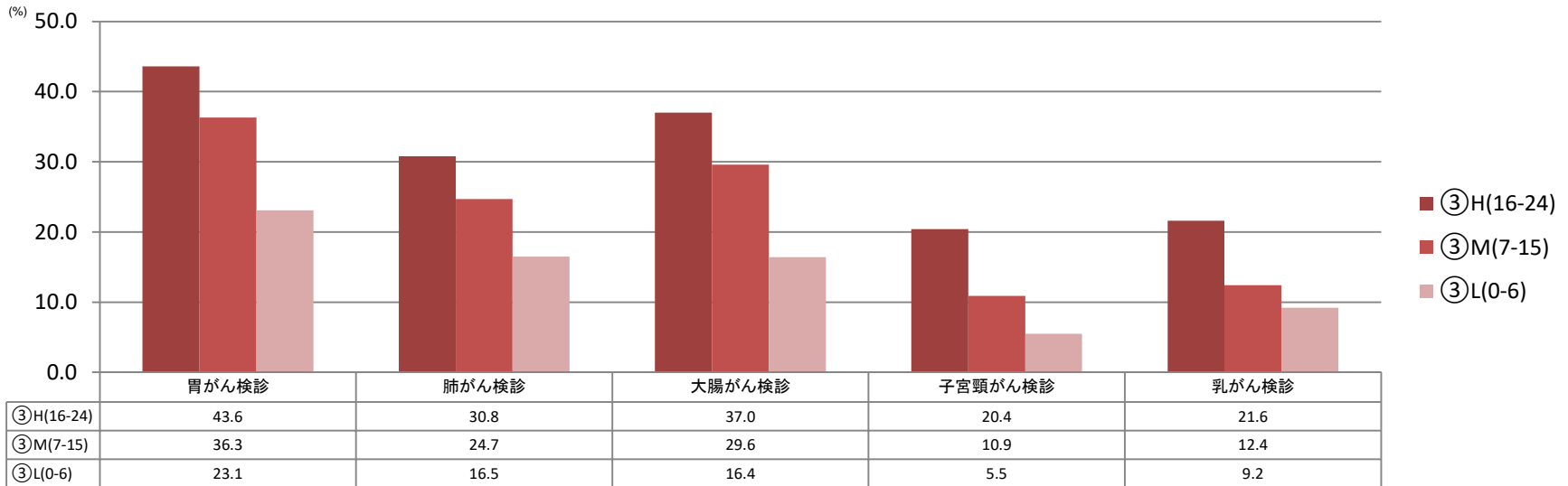
被保険者ほど顕著ではないが、リテラシー度によって、
被扶養者の「がん検診受診率」も差が出た

⑥経営者に絞ったリテラシーと「事業所における“がん対策”」

＜がん検診実施状況＞

◆③の「経営者または従業員向け検診の状況を把握している者」の中で、特に「経営者または役員」に絞った回答者における、がんに対するリテラシーとがん検診実施状況の相関を見たもの

◆数値は、事業所として従業員向けがん検診を行っている率



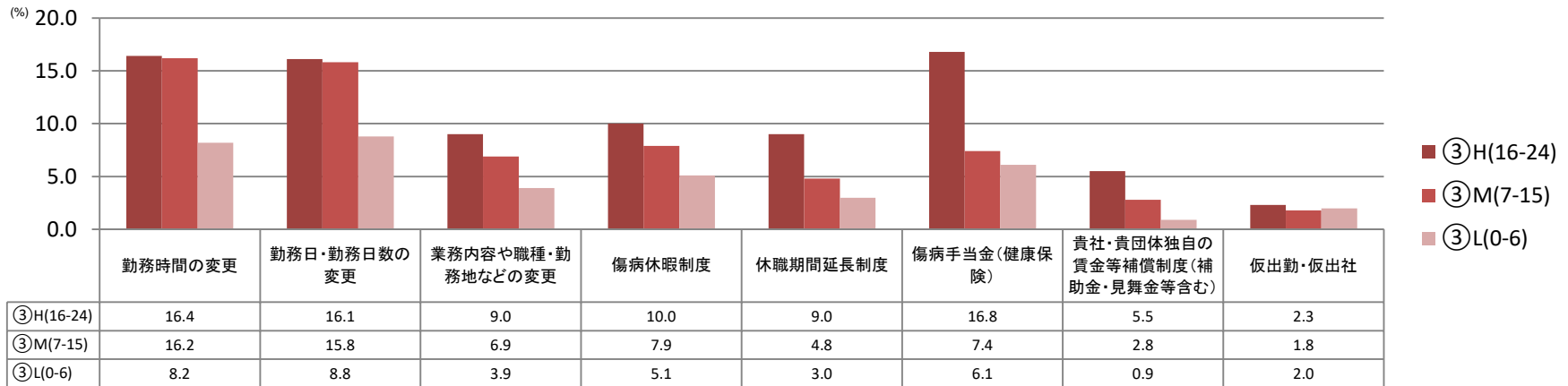
経営者または役員のリテラシー度による事業所のがん検診実施状況には大きな差がある。

⑦経営者に絞ったリテラシーと「事業所における“がん対策”」

＜就労支援状況＞

◆「経営者または役員」を回答者とした、がんに対するリテラシーと事業所としての就労支援状況の相関を見たもの

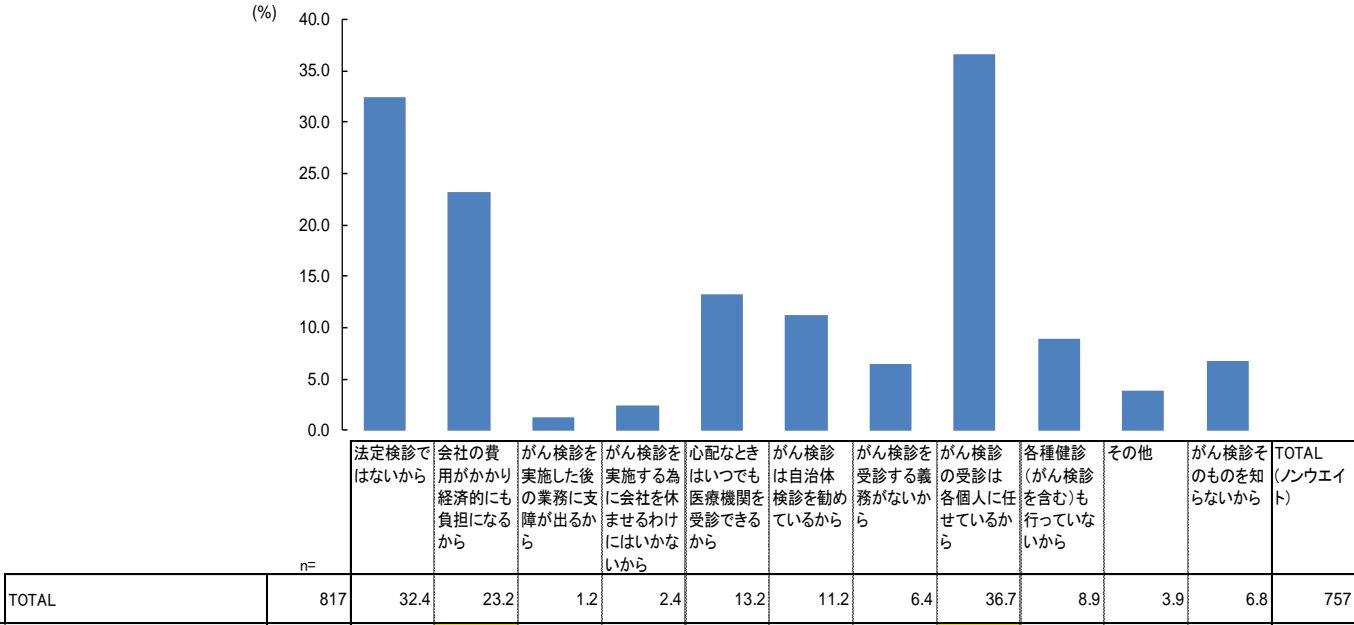
◆従業員に対して何らかの就労支援策を行っている事業者は全体の28.6%



経営者または役員のリテラシー度によって、事業所の就労支援施策にも差があることがわかった。

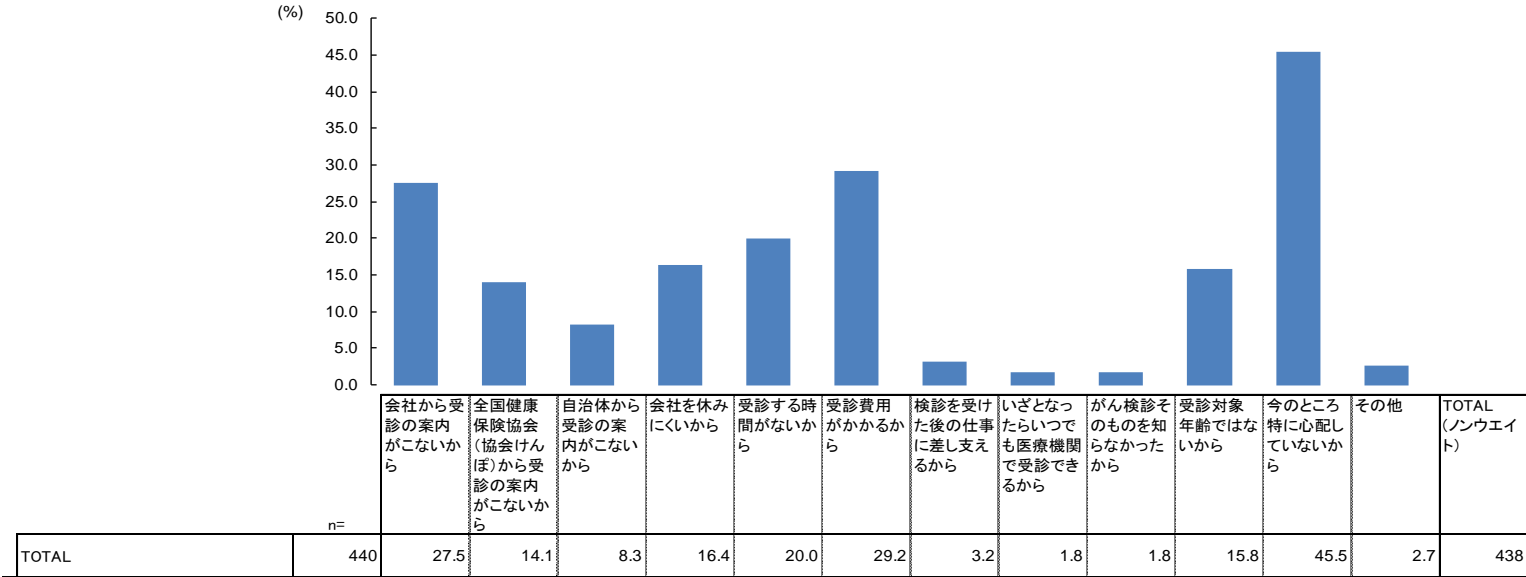
<参考資料:A>

経営者のリテラシーと「従業員向けがん検診の非実施理由」



<参考資料:B>

被保険者のリテラシーと「がん検診を受診していない理由」



<参考資料:C>

被扶養者のリテラシーと「がん検診を受診していない理由」

